

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	田沢 晶子		
配当	人社4	コード	80530
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	4
授業テーマ	卒業研究を完成させるために必要な心理統計などの手法を身に付ける。		
目的と概要	各自が自分の卒業論文に関する研究テーマを見つけ、文献を収集します。心理学領域での研究に必要な分析の手法を身に付けることを目的とします。		
成績評価法	ゼミ発表+レポート70%、平常点30%		
テキスト	適宜資料を配布します。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各自が自分の興味のあるテーマを探し出し、これに関する文献を収集し、講読する。</li> <li>2. 各自が自分の興味のあるテーマを探し出し、これに関する文献を収集し、講読する。</li> <li>3. レジユメを作って自分の研究テーマについて発表を行ない、皆で討論する。</li> <li>4. レジユメを作って自分の研究テーマについて発表を行ない、皆で討論する。</li> <li>5. 発表、討論を重ね、各自が研究テーマと研究の具体的な研究法について明確にする。</li> <li>6. 分析計画を立てる</li> <li>7. 分析計画を立てる</li> <li>8. 調査票の作成</li> <li>9. 調査票の作成</li> <li>10. 調査の実施の仕方</li> <li>11. データ入力の仕方</li> <li>12. データ入力の仕方</li> <li>13. 平均値 標準偏差</li> <li>14. 平均値 標準偏差</li> <li>16. SPSSを用いて、因子分析を行なう</li> <li>17. SPSSを用いて、因子分析を行なう</li> <li>18. 信頼性の検定</li> <li>19. t検定</li> <li>20. t検定</li> <li>21. 1要因の分散分析</li> <li>22. 1要因の分散分析</li> <li>23. 2要因の分散分析</li> <li>24. 2要因の分散分析</li> <li>25. 重回帰分析</li> <li>26. 重回帰分析</li> <li>27. 図表の作成の仕方</li> <li>28. 結果の解釈</li> <li>29. 結果の解釈</li> <li>30. まとめ</li> </ol>			